

[1 刷の修正 (2 刷以降では修正済み) ]

17 ページ : 本文 (コラム) 2-3 行目

誤) 何も確認せずに終わるようにしたテスト・ケースを作成する、というものでした。そして、開発者たちはこのような網羅率を 100%にする義務を満たす..

正) 何も確認せずに終わる **ことで必ず成功するようにした**テスト・ケースを作成する、というものでした。そして、開発者たちは、**プロダクション・コードを実行するだけで検証を行わない**網羅率を 100%にする義務を満たす..

100 ページ : 本文下より 4 行目

誤) ほとんどプロジェクトでよく見られる

正) ほとんどの**の**プロジェクトでよく見られる

110 ページ : 本文下より 5-6 行目

誤) その検査は何らかの反応が起こす

正) その検査**では**何らかの反応が**起こる**

120 ページ : 本文下より 5-6 行目

誤) 他の 3 本の柱との関連性ありません。

正) 他の 3 本の柱との関連性**は**ありません。

186 ページ : 本文下より 5-6 行目

誤) (関数型核の戻り値)

正) (関数**的**核の戻り値)

204 ページ : 本文 6-7 行目

誤) もしくは、平等性を評価する手段を

正) もしくは、**等価性**を評価する手段を

205 ページ : コードに挟まれた中段 本文 5 行目

誤) そこに ActionType という総称型 (enum) のフィールドを追加して、

正) そこに ActionType という**列挙型** (enum) のフィールドを追加して、

218 ページ : 本文 7 行目

誤) 一方、図の左下のコントローラに属するコード

正) 一方、図の**右下**のコントローラに属するコード

328 ページ : 10.1 節 本文 1 行目

誤) 管理下にある依存をそのまま使うようにべき

正) 管理下にある依存をそのまま使うように**す**べき